

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.M	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	3	派遣国	カナダ
派遣大学	ヒューロン大学		
期間	2002年 8月 28日～ 2003年 5月 25日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (7万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩と市バス) で、約 (25) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	1.5万円	週一回のスーパー
学用品購入費	5千円	学期の初めにテキストブック、その他文房具など
交通費	0円	バスパスが学費に含まれているため
交際費	3-4万円	外食やレジャー費
その他	2万円	ショッピングなど

合計

約8万円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ロンドンのダウタウンは夜になるとホームレスの方が多くいるため少し危険です。昼も治安がいいわけではないです。大麻を吸っておかしい人も結構います。学校周辺は学生も多く安全です。

夜に一人で出歩かない、夜のダウタウンに一人で行かないなどに気を付ければ思っていたよりもロンドン安全かと思えます。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学 研 災付帯 海 学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(10 万円ほど) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	大学の University Health Insurance Plan に加入必須でした		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	(5 万) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ロンドン**)

ロンドンはトロントから2時間ほどのところに位置しており、人口は45万人ほどの大きすぎずちょうどいいサイズの市です。

ショッピングモールやスーパーマーケットもたくさんあり住むのに不自由はないです。

大きなウェスタン大学とその連携校(ヒューロンもそのうちの一つ)や Fanshawe College もあり学生が多く住む比較的治安のいい街です。

きれいな公園もたくさんあり、暖かい季節には散歩や公園で遊ぶ人が多くみられます。

大学がたくさんあるため世界各国からの留学生も多く、大学付近では様々な国のバックグラウンドを持った人に出会えると思います。

ダウタウンは大学から少し距離があります、多くの飲食店がある一方で夜はホームレスの人も多く治安がいいとは言えません。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ヒューロン大学	所在地	1349 Western Rd, London
最寄空港	ロンドン国際空港	空港からの距離	市バスで1時間ほど
空港⇄大学	(市バスを乗り継ぐ)		*移動手段
学生数	1200	留学生数	120
学部	Faculty of arts and social science <Department> CENTRE FOR GLOBAL STUDIES CHINESE, JAPANESE AND EAST ASIA STUDIES ECONOMICS ENGLISH AND CULTURAL STUDIES FRENCH STUDIES GLOBAL GREAT BOOKS GOVERNANCE, LEADERSHIP & ETHICS (GLE) HISTORY JEWISH STUDIES MANAGEMENT AND ORGANIZATIONAL STUDIES (MOS) NON DEPARTMENTAL COURSES PHILOSOPHY POLITICAL SCIENCE PSYCHOLOGY SCHOLAR'S ELECTIVES		
学部/専攻	Center for global studies *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	10:30-11:30 Writing クラス 11:30-12:30 Perspectives on Japan クラ ス	スーパーマー ケットが 10 引 きの学割の日 なので午前は 食料品買い出 しと家事をす る	9:30-11:30 Writing クラス 11:30-13:30 Perspectives on Japan クラ ス	家事をして終 わり次第学校 もしくは家で 勉強	学校で自習
午後	14:30-17:30 Sociology ク ラス	学校もしくは 家で勉強	学校もしくは 家で勉強	15:00- 17:00Global Café(国際交流 イベント)に参 加する その時間以外 は学校で勉強	学校で自習 クラブ活動に 参加

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	学校もしくは 家で勉強	食料品買い出 し	11:30-12:30 Histories of Love クラス	家事をするか 課題を進める	11:30-13:30 Histories of Love クラス
午後	12:30-14:30 In Search of Canada クラ ス 14:30-17:30 Sociology ク ラス	14:30-15:30 Special Topic in Japan Studies クラ ス	学校もしくは 家で勉強	15:30-17:30 Special Topic in Japan Studies クラ ス	15:00-16:00 クラブ活動 (JCC)

3. 履修内容

科目	Introduction to Basic Academic Writing		
履修期間	秋semester (9-12月)	単位数	0.5単位
授業内容／形態	主に留学生や英語が第一言語ではない人に向けた、大学生活に必要なアカデミックな文章やエッセイの書き方を学ぶ授業です。ヒューロンから留学生は履修を進められています。いくつかのエッセイ課題を通じてエッセイ向けの表現や単語、文章の構成などを学びました。		
成績	88		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Perspectives on Japan		
履修期間	秋semester (9-12月)	単位数	0.5単位
授業内容／形態	日本に関するトピックや文化を各授業でトピックに沿って学びます。人、言語、宗教、経済、人気の文化、科学テクノロジーなどを中心として、日本の歴史と結びつけながら学びました。オタク文化などの面白いトピックについてもクラス内でディスカッションをしました。		
成績	86		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Sociology		
履修期間	秋、冬semester (通年コース 9-4月)	単位数	1
授業内容／形態	社会学の基本的な事例を毎週テキストのトピックに沿って幅広く学びます。トピックは教育、宗教、家族、結婚、文化、社会構造、ソーシャルメディアなどがありました。カナダを中心とした北アメリカにおける事例を取り上げながら学びます。		
成績	76		
YCU 振替予定	科目	社会学	
	単位数	2	
	担当教員	渡會 知子	

科目	In Search of Canada		
履修期間	冬semester (1-4月)	単位数	0.5
授業内容/形態	カナダの歴史を多文化主義のようないい面と先住民やアジア人に対する強制収容キャンプなどの悪い面も両方を取り上げる授業である。よくありがちなマジョリティである白人入植者視点の歴史研究ではなく、先住民や人種マイノリティの歴史や現状に多く触れられている授業である。毎授業の最後にグループごとのディスカッションがあり意見をシェアできるクラス形態である。		
成績	75		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Special Topic in Japan Studies		
履修期間	冬semester (1-4月)	単位数	0.5
授業内容/形態	日本食、アニメ漫画、ビデオゲーム、日本車、J-pop など日本に関するトピックを毎授業で取り上げる。そしてなぜこれらが Cool Japan といわれる現在の日本を形作ったのか、どのような点で世界から評価されているのかを学ぶ授業である。		
成績	83		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Histories of Love		
履修期間	冬semester (1-4月)	単位数	0.5
授業内容/形態	愛の歴史について、家族の愛、戦時中の愛、犯罪者の愛、同性愛者の愛など様々な愛の形を歴史的文書や写真などの資料から考察し、当時の愛の形が現在とどのように違っていたのか、または一緒なのかなどを分析した。		
成績	85		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	M.M	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	カナダ
派遣大学	ヒューロン大学		
期 間	2022 年 8 月 28 日～ 2023 年 5 月 25 日		
プログラム	交換留学		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Perspectives on Japan
講義内容	日本に関するトピックを幅広く扱い、日本の文化や歴史がどういったものであるかを理解する授業です。人、言語、宗教、経済、人気の文化、科学テクノロジーなどを中心として歴史と結びつけながらの授業でした。
科目	Introduction to Basic Academic Writing
講義内容	留学生や英語が第一言語でない人向けの大学に必要なアカデミックライティングの書き方を学ぶ授業です。各エッセイ課題を通して、ライティングに必要な言葉や言い回し、構成などを学びました。
科目	Introduction to Sociology
講義内容	社会学の基本的な事例を毎週テキストのトピックに沿って幅広く学びます。トピックは教育、宗教、家族、結婚、文化、社会構造、ソーシャルメディアなどがありました。カナダを中心とした北アメリカにおける事例を取り上げながら学びます。
科目	Special Topics in Japan
講義内容	日本食、アニメ漫画、ビデオゲーム、日本車、J-pop など日本に関するトピックを毎授業で取り上げる。そしてなぜこれらが Cool Japan といわれる現在の日本を形作ったのか、どのような点で世界から評価されているのかを学ぶ授業である。
科目	Histories of Love
講義内容	愛の歴史について、家族の愛、戦時中の愛、犯罪者の愛、同性愛者の愛など様々な愛の形を歴史的文書や写真などの資料から考察し、当時の愛の形が現在とどのように違っていたのか、または一緒なのかなどを分析した。
科目	In Search of Canada
講義内容	カナダの歴史を多文化主義のようないい面と先住民やアジア人に対する強制収容キャンプなどの悪い面も両方を取り上げる授業である。

	<p>よくありがちなマジョリティである白人入植者視点の歴史研究ではなく、先住民や人種マイノリティの歴史や現状に多く触れられている授業である。毎授業の最後にグループごとのディスカッションがあり意見をシェアできるクラス形態である。</p>
--	---

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

約9か月間の留学で一言ではまとめきれないほどの様々な経験をしましたが、もし簡単に表すとしたら「すごく辛く大変だったけど、すごく楽しかった」ではないかと思います。これについて大変だった経験と楽しかった経験の大きく2つに分けて留学生活を通しての気づきや学びをまとめていこうと思います。

まず、大変だった経験に関して「授業についていく大変さ」があると思います。課題がすごく、毎週のリーディングが100ページあたり、400ページほどある本を読み8ページのブックレビュー書く課題など日本では経験したことのない量の課題を英語でこなす大変さを経験しました。また、留学をしていたヒューロン大学は少人数クラスが多いので、ディスカッションや発言が多く求められました。スピーキング力があまりない状態で渡航をしたので人一倍予習をして何を発言するかを練習するなど毎回緊張しながら授業に参加していました。この経験から学んだことは、授業に参加しているだけではないも同然で、自分から意見を言うことで主体的な学びが出来るということです。ただ暗記をする勉強ではなく、授業内容に対して自分がどういった考えを持つかを重視するヒューロン大学の授業はついていくのが大変でしたが、たくさんのことを学ぶことが出来たいい経験です。また、学業がすごく忙しい中で自炊や家事全般をするととなると時間が足りず、効率的なルーティンを見つけるまでは睡眠時間をすごく削りながら課題をし、不健康な生活をしていました。この経験から、効率的な時間配分を学べたと思います。午前中に家事を済ませ午後は授業、そのあとは課題をこなすなど効率的な生活をする大切さを学びました。

次に、楽しかった経験に関して「新しいことをたくさん経験できること、色々な友達と出会える」点があると思います。日本とは違う文化で違う言葉を使って生活をしていく中で、毎日新しいことに会える体験や昨日はできなかったことが今日はできるようになるなどの成功体験は自分の自信につながりました。また、留学先のカナダは多文化社会であるため、様々な文化や価値観を持つ友達をたくさん作ることが出来たのがとても思い出に残っています。自分の価値観も大きく変わり、多様性をより受け入れられるようになったり、新しい文化を体験する楽しさに気づくことが出来ました。また、日本に興味を持ってくれる人はとても多く、そういった人と友達になる中で自国の文化のすばらしさにも気づくことが出来ました。今まで自分にとって当たり前だった日本ですが、海外から見るととても素敵な国でそんな自国を誇りに思い、将来は日本の良さをもっと発信できるような活動(仕事)がしたいと思い始めるなど、自分のやりたいことに留学を通して少しずつ気づくことが出来たのはとてもよかったと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

留学を通してやりたいことや将来の仕事のビジョンがはっきりと決まったわけではないのですが、留学に挑戦する方や日本に留学に来ている方のサポートに興味を持つようになりました。留学の楽しさやすばらしさはもちろんのこと、大変さやさみしさなど留学を通して経験したからこそできるサポートがあるのではないかと考えています。

また、世界中に友達がいる今、他の言語や文化を学んでみたいと思うようになりました。話せる言語が増えればたくさんの人と交流する機会が増えることにつながると思います。また、違う文化を学ぶことはただ興味深いだけでなく、普段は当たり前で気づかなかった日本文化の繊細さや美しさに気づくきっかけになると思っています。

言語面では、留学で身に着いた英語力は帰国後も勉強を続けより高いレベルに持っていきけるように頑張りたいと思います。将来は英語を使って仕事をしたいと思っているので学生のうちにも試験を受けたり英語を使う場面を積極的に作っていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学はいつも楽しいだけではないと思います。これは私が渡航前に甘く見ていた部分でした。日本では英語が話せるほうだと思っていたのですが、留学先ではみんなが何を言っているか聞き取れなかったり、自分の言いたいことが言葉にできないもどかしさをたくさん経験し、落ち込む毎日でした。しかし、段々と現地での生活に慣れ、英語力が上がっていく中で日本では出来ないような経験やたくさんの人と交流し、楽しく充実した日々を送れるようになりました。

日本国内でも英語力を伸ばせる機会がありますが、海外で生活をし、英語漬けの日々を送ることはやはり上達への近道だと思います。また、何よりもすごく貴重な経験をたくさんでき、自分の考え方や価値観にまで影響を及ぼすような新鮮な出会いや経験もできると思います。

今は「留学してよかった！！成長できた最高の9か月間だった！」と胸を張って言えます。そうなるかどうかは自分の行動力や積極性次第だと思うので、留学に行くか迷っている方は短期からでも挑戦し、自分のやりたいことと留学があっているかを確かめてみるのがいいと思います。